

1. 調査報告概要表

作成日 平成21年 6月23日

【評価実施概要】

事業所番号	(評価機関で記入) 3 4 7 1 5 0 3 5 4 4
法人名	株式会社 愛光園
事業所名	グループホーム パラの家
所在地	広島県福山市沖野上町1丁目3番11号 (電 話) 084-928-6123
評価機関名	特定非営利活動法人 医療福祉近代化プロジェクト
所在地	広島市安佐北区口田南4-46-9
訪問調査日	平成21年6月23日

【情報提供票より】(21年 5月 1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和・平成 16年 5月 1日
ユニット数	2 ユニット 利用定員数計 18 人
職員数	18 人 常勤 15人, 非常勤 3人, 常勤換算 人

(2) 建物概要

建物構造	軽量鉄骨 造り
	3階建ての 2階 ~ 3階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	45,000 円	その他の経費(月額)	25,000 円	
敷 金	有(0 円)	Ⓢ		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円)	有りの場合 償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり		1,200 円	

(4) 利用者の概要(5月 1日現在)

利用者人数	18 名	男性	4 名	女性	14 名
要介護1	5 名	要介護2	3 名		
要介護3	6 名	要介護4	2 名		
要介護5	2 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 79.3 歳	最低	67 歳	最高	99 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	こばたけ医院・木村歯科
---------	-------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

グループホームパラの家は、交通の便利な街中に位置し、公園やコンビニも近くにあり散歩や買い物に出かけるには環境の整った場所にある。かかり付け医の医療機関も近くにあり24時間体制で支援している。施設理念で掲げている「入居者の想いと尊厳を大切に、明るい笑顔でゆとりをもって接します」の理念を職員全員が理解し、研修会や勉強会でスキルアップを図り、日々利用者実践している。また食事にも工夫を凝らし松花堂弁当の日を設け入居者の方に喜んでいただいている。施設玄関には鍵をかけず入居者が自由に外出を楽しまれ、明るい笑顔でのびのびと生活することを職員一丸となって支援している。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>職員ミーティングで話し合いを深め引き続き検討されている。地域交流に取り組み地域公民館で認知症アドバイザーのサポーターの育成や同業者との交流で互いの事業所で研究発表や勉強会を開きサービスの向上に取り組んでいる。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>運営者、管理者や職員はホームを良くするための意欲が良く見られた。評価の意義や目的を十分に理解し、利用者へのサービスの質の向上に取り組んでいる。</p>
重点項目	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)</p> <p>運営推進会議は2ヶ月に1回開催し、運営者、家族、地域包括支援センター職員、民生委員、事業所職員で検討され、今年度より町内会長も参加している。会議では事業所の取り組み状況・行事報告や施設内での出来事の報告や参加者との意見交換を行いサービスの質の向上に活かしている。</p>
重点項目	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)</p> <p>玄関にご意見箱を設置し家族の要望や願いを運営推進会議で検討し、また日々改善を図っている。行事の一環として地域の花火大会がある時に施設の屋上を開放し家族にも町内会の人と共に参加し交流を深めている。また月に一度各家庭に「月まとめ」を作成し利用者の暮らしぶりを報告している。個々に変化があった場合電話連絡をし、面会時に近況を報告している。</p>
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>地域住民の一員として自治会に加入し、町内会行事の祭り、町内会の清掃や敬老会にも積極的に入居者が参加している。散歩や買い物にフラット立ち寄れるコンビニがあり店員の方が理解を示され会話が弾んでいる。婦人部主催のコーラスに月2回公民館に出かけ地域の方と交流している。地域との交流が盛んであり、有事の場合の連絡網が出来ている。</p>

2. 調査報告書

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「入居者の想いと尊厳を大切に、明るい笑顔でゆとりを持って接しましょう」の理念を玄関に掲げ、職員一丸となって利用者本位の暮らしが出来るように支援している。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	職員間で話し合いをし、理念を念頭に置いたケアができるよう毎朝申し送り時に確認も含め職員全員で読み上げを行い、利用者の想いと尊厳のあり方を理解し実践している。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内会の祭りや、敬老会、町内清掃行事に参加し、地元の方々との会話やふれあいで交流している。又地域の公民館で管理者が認知症についての講座を設け認知症アドバイザーのサポーター養成も行い地域での見守り体制に貢献している。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価、外部評価を実施する意義を深く理解し、評価結果は職員ミーティングで共有し、認知症アドバイザーの管理者の下、改善事項については、話し合いを深め改善に取り組んでいる。		
5	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	町内会長・家族・民生委員・地域包括支援センター職員・施設職員・管理者・運営者が出席し2ヶ月に1回開催している。施設内の出来事や家族からの意見を報告、検討している。		

グループホーム バラの家

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	管理者が認知症アドバイザーの講座で地域に講師として出かけるので市・町・社協・地域包括支援センターとの交流も深く連携が取れている。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	毎月請求書を送付する時に利用者お一人お一人の状況を担当者が生活状況や、支援経過を書面で添付し、行事予定や参加のお願いの連絡をしている。面会にこられる家族については、その都度職員が状況を説明している。また変化があった時には、その都度電話で連絡を取っている。		
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	玄関にご意見箱を置き意見や苦情を聞くようにしている。また来訪時に聞き取りしたり、運営推進会議の席にも家族に参加して積極的な意見をいただき検討している。		
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の移動は2階3階とランダムに勤務体制を組み2ユニット一体で支援に当たり、利用者には不安を与えないよう日頃から職員全員が顔馴染みの関係を築いており利用者への影響を防いでいる。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修は月1回全員参加で行い、外部研修の受講希望者全員に応じ、研修費用は事業所が負担、勤務体制の調整をし受講できるようにしている。受講者は事業所で、研修成果の報告を行い全員で知識を共有しスキルアップしている。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	福山地区地域密着型サービス事業所の同業者が参加し各事業所持ち回りで研修資料の作成や研究発表で情報交換会を行い、サービスの質の向上に取り組んでいる。		多くの事業所が参加し情報交換会が定例化していくことを期待します。

グループホーム バラの家

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>入居希望者の会議を月1回行い検討会を実施している。入居希望者には、体験入居していただいている。入居後は利用者にホームに慣れて頂くために、家族と相談しながら、草取り・散歩・クラブ等で心のケアをしながら馴染んでもらうようにしている。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜ぶ哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>利用者本人の得意分野や興味を引き出し調理や、食後の後片付け、洗濯物をたたんだり施設内の清掃をしたり、日々の暮らしの中で支えあう関係作りをしている。</p>		
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>日々の暮らしの中で、利用者の希望や意向の把握に勤めている。お一人お一人の思いがあるので声かけをしながら、無理強いしないように利用者の思いを大切にしている。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>本人や家族の意見を取り入れながら介護計画作成担当者が3ヶ月に1度職員と互いに話し合いながら介護計画を作成している。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>介護計画の見直しは、3ヶ月に1度また利用者の状態変化や家族の要望によって見直し、現状に即した介護計画を作成している。</p>		

グループホーム バラの家

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	利用者の要望により通院介助・外泊支援を施設職員がサービスの一環として積極的に行っている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	医療連携体制をとり、24時間いつでも医師と連絡が取れる体制が確保できている。また往診の体制も整っており、個々のかかりつけ医への受診が出来るよう支援している。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化した場合や終末期のケアについて、本人や家族の意思を尊重し、かかりつけ医やスタッフと充分話し合い支援している。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねないよう全員が言葉がけ等に気をつけて支援している。日々の反省会で適切でない事柄について注意している。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	趣味活動や外出の支援は利用者一人ひとりの体調の変化や意思を尊重して、その日の状態や希望、本人のペースに応じた柔軟な支援を行っている。		

グループホーム バラの家

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	管理栄養士が計画した食事を一緒に準備している。利用者と食材の買出しに出かけ、職員と一緒に調理し、同じテーブルで職員も食事介助と歓談しながら食事をし、片付けも共にしている。		利用者の状態に合ったメニュー作りを期待します。
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	毎日入浴を実施している。夜間入浴を希望される方にも職員が個別ケアで対応している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	能力に応じた趣味や役割、調理を楽しみ、散歩も自由に行い喜びのある日々を送れるように支援している。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	自由に外出が出来、近所のコンビニに出かけ店員の方が気軽に声掛けをしてくださり、地域交流を行っている。公園や買い物や散歩に出かける支援をしている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中は、玄関居室共に鍵はかけていない。帰宅願望のある利用者にも、職員が見守りを行っている。夜間玄関は鍵をかけセンサーにて確認し、夜間外出の希望のある利用者には柔軟な支援をしている。		
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年2回消防訓練を地元の消防署と一緒にしている。		地域の方や警察・町内会と協力して合同の避難訓練実施を積極的に働きかけることを期待します。

グループホーム バラの家

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	献立の栄養バランスや食事は、管理栄養士に作成してもらい調理している。また水分補給には特に気をつけ1日5回かんでん100gをおやつ、食後に摂取していただき1日1000ccの水分量を摂取している。利用者の好みの飲料でも対応している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	ホーム玄関は鍵がかけられてなく自由に外出でき、廊下や居間には利用者の方が書かれた習字や絵が飾られている。施設中心部は中庭があり外光が注ぎ室内が明るく温かみがあり居心地良く過ごせるように工夫している。		施設内に季節の花々や木々を増やされることを期待します。
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者の居室には、カレンダーや写真・額・花が飾られ、使い慣れた家具が持ち込まれ居心地良く安心して過ごせるようになっている。居室は畳式の部屋も用意され一人ひとりの状態や希望に応じた居室となっている。		